

技術力を生かし、新たな事業に取り組む

有限会社原田刺繍 奈良県香芝市

有限会社原田刺繍（代表取締役 原田弘子氏）は、若者を中心に人気があるアパレルブランドのメーカーやゴルフウェアメーカーから指定を受けた工場として、主に受注生産で業容を拡大させてきた。

原田社長のモットーは「先手必勝」。最新鋭の設備を積極的に導入して、これまで自社の技術力を磨いてきた。現在では、「細かい作業に対応できる」、「刺繍そのものを毛羽立たせる」といったクオリティの高い刺繍技術を誇っている。

また、人との出会いや付き合いを大事にしており、「社員は財産です」と語る。その考えから、職場環境の改善など「社員が働きやすい職場づくり」に常日頃から心がけている。特に女性経営者ならではの心配りが絶妙で、女性社員から私生活の相談を受けることもあるという。そういったことが、「定着率が高く、経験豊かな社員が存在する」という強みを生み、高い技術力の源泉となっている。



刺繍の工程（左）と完成品

一方で、同社の優れた技術力を生かした新しい展開として注目されているのが、行政（奈良県）が「奈良ブランド」の振興をサポートする「奈良くらしくす」^(※)に平成22年度、認定された「糸から生まれた“IKIMONO”たち」だ。

^(※)「くらしくす」はラテン語で最上級の意味。

「糸から生まれた“IKIMONO”たち」は、同社が今まで培ってきた繊細な刺繍の技術を駆使し

て作り出された逸品。インテリアのほかブローチやネックレス、ストラップなどのアクセサリーとして重宝されている。

作品を東京で開催された「TEIBAN Japan classico 展『奈良』」に出展したところ、多くの来場者から好評を得、（独）中小企業基盤整備機構が運営（当時）する、ネットショップサイト「Rin」^(※)にも掲載されている。現在はネット販売や国内販売に加え、パリのボン・マルシェ百貨店など海外で販売することもある。また、一流デザイナーの関係者からも声がかかり、試作品を作成して交渉中の商品もある。試作品の出来栄は上々で先方からの評価も高いという。

今後も受注生産が中心という同社のスタンスは変わらないが、高い技術力とチャレンジ精神をもって進む原田刺繍。原田社長の次の展開が楽しみだ。

（丸尾尚史）

^(※) Rin は現在のライフスタイルに合わせたデザインと職人の手技が融合して生まれた“ジャパンデザイン”を集めたセレクトショップ。現在は民間が運営。



「糸から生まれた“IKIMONO”たち」

有限会社原田刺繍

〒639-0242 奈良県香芝市北今市 6-484-6

TEL: 0745-76-4826

FAX: 0745-77-0503

URL: <http://www.eonet.ne.jp/~haradasisyu/>